

定期報告(ウルグアイ内政・外交:2020年1月)

1 概要

【内政】

●22日, ラカジェ・ポウ次期大統領は連合の他政党の指導者と会合し, 政権発足直後に議会に提出予定の緊急検討法案(Ley de urgente consideracion)の草案を提示した。同法案では治安, 教育および経済分野に最も重点が置かれている。

【外交】

●6日, ラカジェ・ポウ次期大統領とポンペオ米 국무長官との間で電話会談が行われた。両氏はベネズエラ情勢等について話し合った他, ポンペオ米 국무長官は, ウルグアイとの緊密な関係を期待すると述べ, ラカジェ・ポウ次期大統領は二国間またはメルコスールとの合意による米国とのFTA進展の可能性を示唆した。

●8日, ニン・ノボア外相は, メキシコシティで開催されたラテンアメリカ・カリブ諸国共同体(Celac)の会議に出席した。

●10日, 米州機構(OAS)の決議で, ウルグアイは, グアイド氏をベネズエラ国民議会の議長として認めることを避け, 投票を控えた。

●13日, サウジアラビアへの牛肉および羊肉の輸出のための冷凍工場が認定された。

●16日, ラカジェ・ポウ次期大統領がウルグアイはアルマグロOAS事務総長の再選を支持することを表明。

●16日, ラカジェ・ポウ次期大統領はケーニヒ在ウルグアイEU大使と会合した。

●23日, ラカジェ・ポウ次期大統領は, ヘイル米 국무次官と会談した。同米 국무次官は貿易・投資枠組み協定(TIFA)に言及し, 同協定が重要で強力な関係を実現するための適切な枠組みであると述べた。

●トランスペアレンシー・インターナショナルが発表した2019年腐敗認識指数によると, ウルグアイは2019年も南米諸国で最も透明性が高い国となった。ウルグアイは, アメリカ大陸32ヶ国中2位, 世界180ヶ国中21位。

2 本文

【内政】

1 緊急検討法案の草案

22日, ラカジェ・ポウ次期大統領は連合の他政党の指導者と会合し, 政権発足直後に議会に提出予定の緊急検討法案(Ley de urgente consideracion)の草案を提示した。ラカジェ・ポウ次期大統領の緊急検討法案の草案には457の条文が組み込まれている。ラカジェ・ポウ次期大統領は, これは草案であり, 議論や提案を受けて条文の数は600にも200にもなり得ると述べた。

法案で扱われている分野は多岐にわたるが, 最も重点が置かれている分野は, 治安, 教育および経済分野である。

治安に関しては, 未成年に対してや様々な犯罪に対する刑罰の引き上げ, 警察に身分証明を求められた際の身分証提示の義務化, 仮釈放時の電子足輪の着用義務, 正当防衛の範囲拡大, 退職警官の武器携行許可及び現行犯の場合の逮捕権限付与等が盛り込まれている。

教育分野では, 公教育運営機関の構造改革による教育文化省の権限強化, 教育法改革, 共和国大学憲章の改正等が提案されている。

経済分野では、燃料・アルコール・セメント公社(Ancap)による石油の輸出入、精製の独占廃止、あらゆる種類の取引に対する強制的な銀行取引義務の廃止、財政ルールの組み込み等が盛り込まれている。

その他、社会保障制度、年金制度、住宅、メディアの統制、環境水省の新設等に関する条文が盛り込まれている。

【外交】

1 ベネズエラ情勢に対する声明

5日、外務省はプレスリリースを発売し、ベネズエラ国民議会の議員に対する人権侵害、特に国民によって合法的に選ばれた代表者の国会参加を妨害したボリバル国家警備隊の行動に深い懸念を表明した。ベネズエラ政府の姿勢は、対話や交渉を通じてベネズエラと協力し、同国が苦しむ深刻な制度危機を解決しようとする国際社会の努力を台無しにするものであるとし、ベネズエラ政府が、状況を悪化させ続け、国の安定を脅かし続ける行動をやめ、全国民の市民的・政治的権利、特に国民議会の議員の権利を厳格に尊重するよう呼びかけた。

2 ラカジェ・ポウ次期大統領及びポンペオ米務長官の電話会談

6日、ポンペオ米務長官はツイッターで、ラカジェ・ポウ次期大統領との間で電話会談を実施した旨を発表し、「米国は、経済発展を拡大し、地域の民主制度及び安全を強化するための公約に基づいて、ウルグアイとの緊密な関係構築を期待する」と述べた。両氏は、ベネズエラのルイス・パラ氏が5日、チャベス主義者の賛同を得てグアイド氏ではなく、自身こそがベネズエラ議会の議長であると宣言したことにつき、マドゥーロ政権の体制を非難した。また、ラカジェ・ポウ次期大統領は同電話会談で、二国間またはメルコスールとの合意による米国とのFTA進展の可能性を示唆した。

3 ラテンアメリカ・カリブ諸国共同体の会議に出席

8日、ニン・ノボア外相は、メキシコシティで開催されたラテンアメリカ・カリブ諸国共同体(Celac)の会議に出席した。メキシコが2020年の議長国に就任した。ニン・ノボア外相は、地域統合のフォーラムとしてのCelacの重要性を強調した。

4 米州機構(OAS)の決議でウルグアイは投票を棄権

10日、米州機構(OAS)は、5日のベネズエラ議会での「脅迫的な戦術」を非難し、ルイス・パラ氏の議長選出を認めず、ファン・グアイド氏を国民議会の議長として支持した。ウルグアイは、グアイド氏をベネズエラ国民議会の議長として認めることを避け、投票を控えた。チャベス主義者及び一部の野党議員は5日、50ヶ国以上にベネズエラ暫定大統領として認められているグアイド氏ではなく、国民議会の議長として既にルイス・パラ下院議員を選出していた。再選を目指していたグアイド氏及び同氏を支持する野党の多数の国会議員は、治安当局の妨害を受け同日の議会に出席できなかった。

5 サウジアラビアへの牛肉および羊肉の輸出開始のための冷凍工場認定

13日、サウジ食品衛生管理局(SFDA)は、ハラール認証を取得するための厳しい監査を含む認定プロセスを完了し、同国に牛肉及び羊肉を輸出可能なウルグアイの冷凍工場のリストを同局ウェブサイトで公開した。両国の関係当局が関連作業を積み重ねた結果、ウルグアイは、サウ

ジアラビア市場におけるウルグアイ肉の長期不在を克服し、ウルグアイ産品にとって大きな潜在力のある新しい市場開拓を達成した。

サウジアラビアは湾岸諸国のうち牛肉の輸入量が2番目に多い国として位置づけられ、ウルグアイ産品の高い安全基準に一致する、高品質の商品に対して厳しい消費特徴を示す取引パートナーである。

6 ラカジェ・ポウ次期大統領によるアルマグロOAS事務総長再選への支持表明

16日、タルビ次期外務大臣はツイッターで、ラカジェ・ポウ次期大統領がアルマグロOAS事務総長に連絡し、ウルグアイは同事務総長の再選支持を表明したと述べた。

アルマグロOAS事務総長の就任にあたって尽力したのはホセ・ムヒカ前大統領であり、2015年3月18日に33票の賛成と1票の棄権により、ウルグアイ人として2人目のOAS事務総長となった。現在、任期が残りわずかとなり、トランプ米大統領、ボルソナーロ伯大統領、アルバラド・コスタリカ大統領、ドゥケ・コロンビア大統領の明示的かつ公的な支持を得て再選を目指している。

タルビ次期外務大臣は、2019年8月(大統領選挙以前)に「エル・オブセルバドール」紙との対話で、アルマグロOAS事務総長の再選への支持を表明済である。

アルマグロOAS事務総長は、2017年に軍事介入の可能性を含め、ベネズエラにおける「あらゆる選択肢を除外する必要はない」と述べ後に発言を撤回したが、所属政党であるFA(拡大戦線)の同僚らは、同事務総長を裏切り者として告発した総会で、同事務総長のFA(拡大戦線)からの除名を満場一致で決定した。同事務総長は、FA(拡大戦線)を非民主的かつ全体主義的であると非難し、選挙詐欺、拷問、人類に害をなす罪を非難しない組織の一員にはなりたくないと述べた。

新OAS事務総長の任命(または現在就任している事務総長の再選)は2020年3月20日に予定されている。

7 ケーニヒ在ウルグアイEU代表部長との会合

15日、ラカジェ・ポウ次期大統領はケーニヒ在ウルグアイEU大使と会合した。同次期大統領が今年ヨーロッパへの外遊を計画しており、同計画を支持するとコメントした。また、2019年6月、20年の交渉の末に歴史的な実質合意に至ったEUメルコスールFTAに関しては、おそらく今年中に批准プロセスが始まると述べ、協定はまだ法的な手続きの段階にあると述べた。

8 ヘイル米国務次官との会談

23日、ラカジェ・ポウ次期大統領は、ヘイル米国務次官(政務担当)と二国間対話を開始する目的で会談した。ヘイル米国務次官は、ラカジェ・ポウ大統領を大統領就任後、ワシントンに招待すると述べた。また、同米国務次官は貿易・投資枠組み協定(TIFA)に言及し、同協定が重要で強力な関係を実現するための適切な枠組みであると述べた。

ヘイル米国務次官との会談のほか、ラカジェ・ポウ大統領はキューバの「クーバ・デシーデ(キューバは決める)」の活動家パジャ氏と会合した。同氏は、ウルグアイのキューバ国民との連帯を要請した。また、ウルグアイのような民主主義国家にキューバの政治家は招待されるべきではないとし、ウルグアイ大統領就任式に同国の政治家を招待しないよう求めた。

9 腐敗認識指数

トランスペアレンシー・インターナショナルが発表した2019年腐敗認識指数によると、ウルグアイ

イは100点満点中71点で、2018年の70点を上回り、2019年も南米諸国で最も透明性が高い国となった。アメリカ大陸32ヶ国中では、ウルグアイは2位。1位はカナダ(77点)、3位は米国(69点)。世界180ヶ国中ではウルグアイは21位。1位はデンマークとニュージーランド(87点)だった。

【要人往来】

○往訪

●7～10日 ニン・ノボア外相、メキシコ訪問(CELAC会議)

●20～27日 ケチチアン観光相 スペイン訪問(国際観光フェア)

○来訪

●23日 ヘイル米国務次官

●23日 キューバ活動家パジャ氏

(了)